

教職概論	1・2年 前期	2単位	教授 平沢 信康
科目カテゴリー	教職科目	科目ナンバリング	36111242

1. 授業のねらい・概要

現代社会における教職の重要性の意識および期待の高まりに鑑み、教職の意義と職務内容および教師の役割を理解し、教職に関する法規を認識し、教職への使命感を涵養することをねらいとする。

教育職員免許状の取得を希望する受講者が教職をめぐる諸状況を多面的に理解し、かつ進路選択を考える基盤となる各種情報に接して学生自らが適性を判断できるようにする。さらに、教職という専門職の在り方を省察しつつ教師のあるべき姿を探究し、自ら理想像を描きつつ、これからの時代に必要とされる教員の資質能力に関して熟考する。

2. 学修の到達目標

1. 教職の歴史的・社会的変遷を理解する。
2. 近年の教育界の動向をふまえて、現代の教員に求められる役割を理解する。
3. 教員の職務内容や教員に課せられる服務上および身分上の義務を理解する。
4. 我が国における今日の学校教育の状況を背景として、学校の担う役割が拡大かつ多様化するなかで、教員が学校内外の専門家たちと連携し、役割分担して対応する必要性についても理解を深める。

3. 授業の進め方

基本的には、講義要旨（レジュメ）を配布し、その教材資料をもとに講義形式で進めるが、少人数授業なので ALR を活用して受講学生のアクティヴ・ラーニングを促す。すなわち適宜タブレット PC を使用し、各種統計データや画像資料および語義を検索して理解を深める。

また、教職に対して受講者が抱いている課題意識や被教育体験を表現する機会も随時設ける。

4. 授業計画

1. 教職と教師について	9. 教職員の給与負担制度
2. 教員の養成について ― その歴史と現状	10. 教職のストレスと教師のメンタルヘルス
3. 教育職員免許状について	11. 教師の職能団体と教職員組合の歴史
4. 教員の信用失墜行為と進退・処分	12. 「不適格教員」―〈問題教師〉の種類と対策
5. 教員の採用	13. 教員の人事評価制度と人事管理
6. 任命と服務義務および条件附採用	14. 「チーム学校」運営への自覚 ― 職務分掌・同僚との協力および内外の専門家との連携・対応
7. 多様な研修制度 ― 法規と種類	15. 教職に求められる望ましい資質能力：理想の教師を求めて教師の力量形成を考える
8. 教員の身分と職制	

5. 成績評価の方法・基準

学期末試験（筆記試験）を実施する。毎回の講義終了時に記してもらった感想レポート（45%）、学期末試験の成績（55%）を基準に、総合的に評価する。

6. テキスト・参考文献

テキスト： なし

参考文献： 関川悦雄・羽田積男『現代教職論』弘文堂、平成28年。

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容

本講義に関係する書籍について、参考文献をはじめ大学図書館の蔵書などにあたって予習復習（各1時間）する。

8. 受講上の留意事項

テレビニュースや新聞雑誌などの教職に関する時事的な情報に敏感になってほしい。教職に関するニュース報道は積極的に視聴すること。また教職受験雑誌にある当該情報にも目を通すことが望ましい。

9. 課題に対するフィードバックの方法

毎回、講義終了時に記してもらった出席票兼用の「感想メモ帳」に書かれた小文に対してコメントを付して次週の講義冒頭に返却するので、注視されたい。また学期末試験の終了後、特に注意を喚起すべき事項について指摘した講評を掲示する。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連
教職の必修科目である。